

## 1 沿革

佐賀県衛生薬業センターは、平成13年、佐賀県衛生研究所と佐賀県薬業指導所が統合し、現在に至っている。

衛生研究所の前身は元警察部衛生課に属し、細菌検査室と衛生試験室に分かれて業務を行っていた。のちに、内務部へ、終戦後は衛生行政の拡充に伴い教育民生部衛生課に移管された。

地方衛生研究所設置要綱(昭和23年4月7日厚生省発予第20号)に基づき、細菌検査・衛生試験を強化するため、検査・試験両室を統合整備して、昭和23年10月22日佐賀県衛生研究所(県庁構内)が発足した。

一方、佐賀県薬業指導所の前身である佐賀県立売薬研究所は昭和7年佐賀市に設立された。

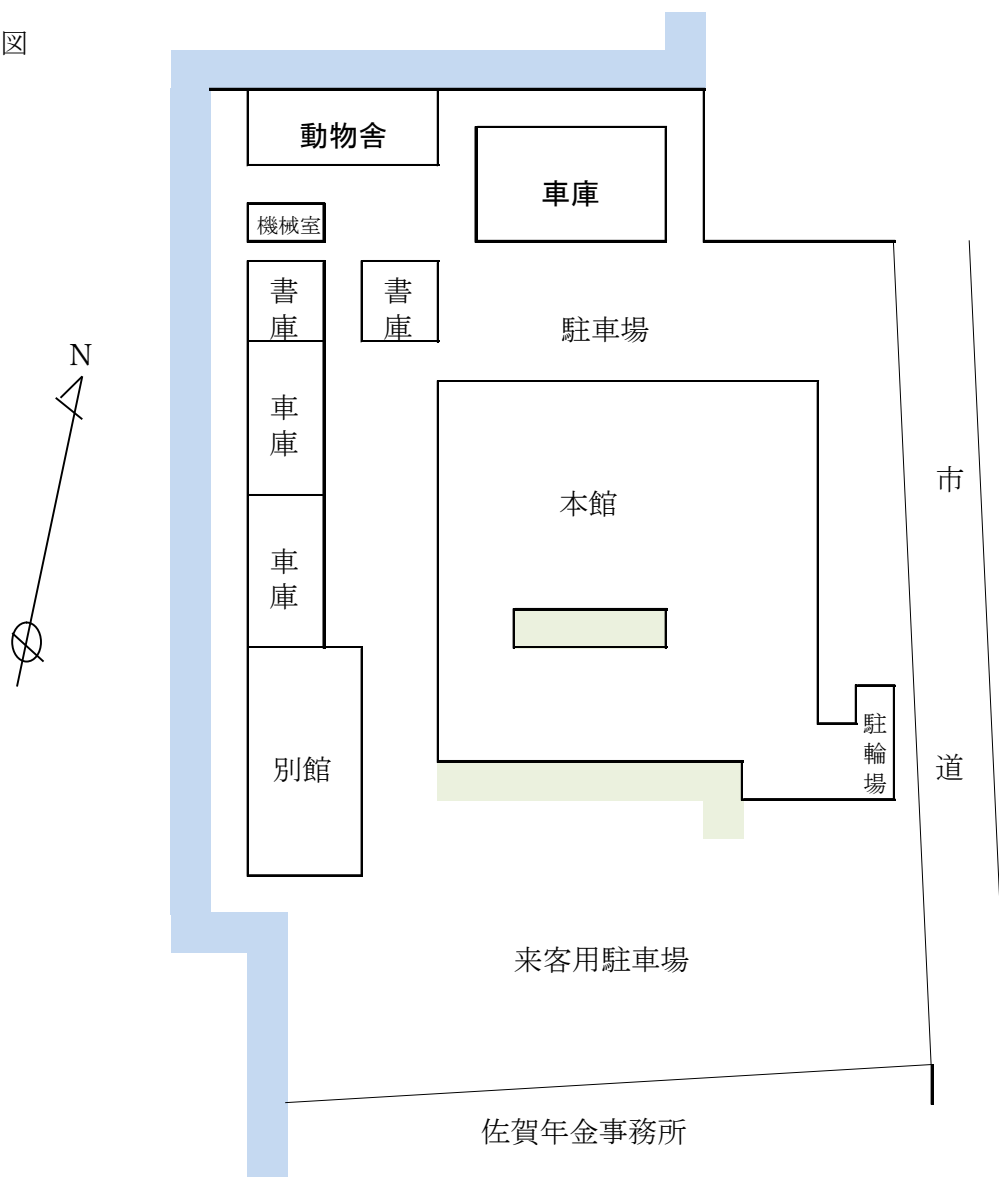
昭和24年4月	総務課、試験検査課の2課制となる
昭和27年	薬業指導所の設置(鳥栖市大正町)
昭和36年3月	試験検査課が細菌検査室と理化学検査室に分かれる
昭和38年10月	総務課、微生物検査課、理化学試験課の3課制となる
昭和40年6月	衛生合同庁舎(佐賀保健所、衛生研究所)の新設に伴い移転(佐賀市水ヶ江一丁目)
昭和42年	薬業指導所の移転(鳥栖市宿町)
昭和45年9月	公害検査課が新設され4課制となる
昭和49年4月	佐賀県公害センター設置に伴い公害検査課は公害センターに移管され3課制となる
昭和58年12月	衛生合同庁舎(佐賀保健所、衛生研究所、精神保健福祉センター)の新設に伴い移転(佐賀市八丁畷町)
平成13年7月	薬業指導所を統合し、医薬品課を新設、「佐賀県衛生薬業センター」に名称変更
平成14年4月	総務課が廃止され、微生物課、理化学課、医薬品課の3課制となる
平成22年4月	佐賀中部、唐津、杵藤保健福祉事務所の検査部門を統合し、ウイルス課、細菌課、食品化学課、環境衛生課、医薬品課の5課制となる
平成26年4月	食品化学課と環境衛生課が統合されて、食品担当と環境衛生担当の2係からなる理化学課となり、ウイルス課、細菌課、医薬品課と合わせて4課制となる
令和2年4月	精度管理・企画情報課を新設し、ウイルス課と細菌課が統合されて微生物課となり、理化学課、医薬品課と合わせて4課制となる

## (歴代所長)

山口 伊典	(昭和24年4月～昭和27年3月)
西村 信一	(昭和27年6月～昭和28年1月)
清水 正一	(昭和28年2月～昭和55年3月)
佐藤 一江	(昭和55年4月～昭和60年3月)
佐柳 進	(昭和60年4月～昭和60年12月)
本村 資光	(昭和60年12月～平成元年4月)
土田 龍馬	(平成元年4月～平成6年3月)
石塚 正敏	(平成6年4月～平成8年7月)
金井 雅利	(平成8年8月～平成11年7月)
山崎 勝彦	(平成11年8月～平成14年3月)
山口 博之	(平成14年4月～平成16年3月)
下平 裕之	(平成16年4月～平成17年3月)
久保 康典	(平成17年4月～平成18年3月)
藤原 義行	(平成18年4月～平成20年3月)
武田 裕二	(平成20年4月～平成22年3月)
轟田 清典	(平成22年4月～平成24年3月)
古川 義朗	(平成24年4月～平成25年3月)
平野 圭子	(平成25年4月～平成26年3月)
中尾 剛	(平成26年4月～平成28年3月)
北島 淳二	(平成28年4月～平成30年3月)
石橋 博	(平成30年4月～平成31年3月)
東島 誠路	(平成31年4月～令和3年3月)
八ヶ代 一郎	(令和3年4月～令和4年3月)

## 2 施 設

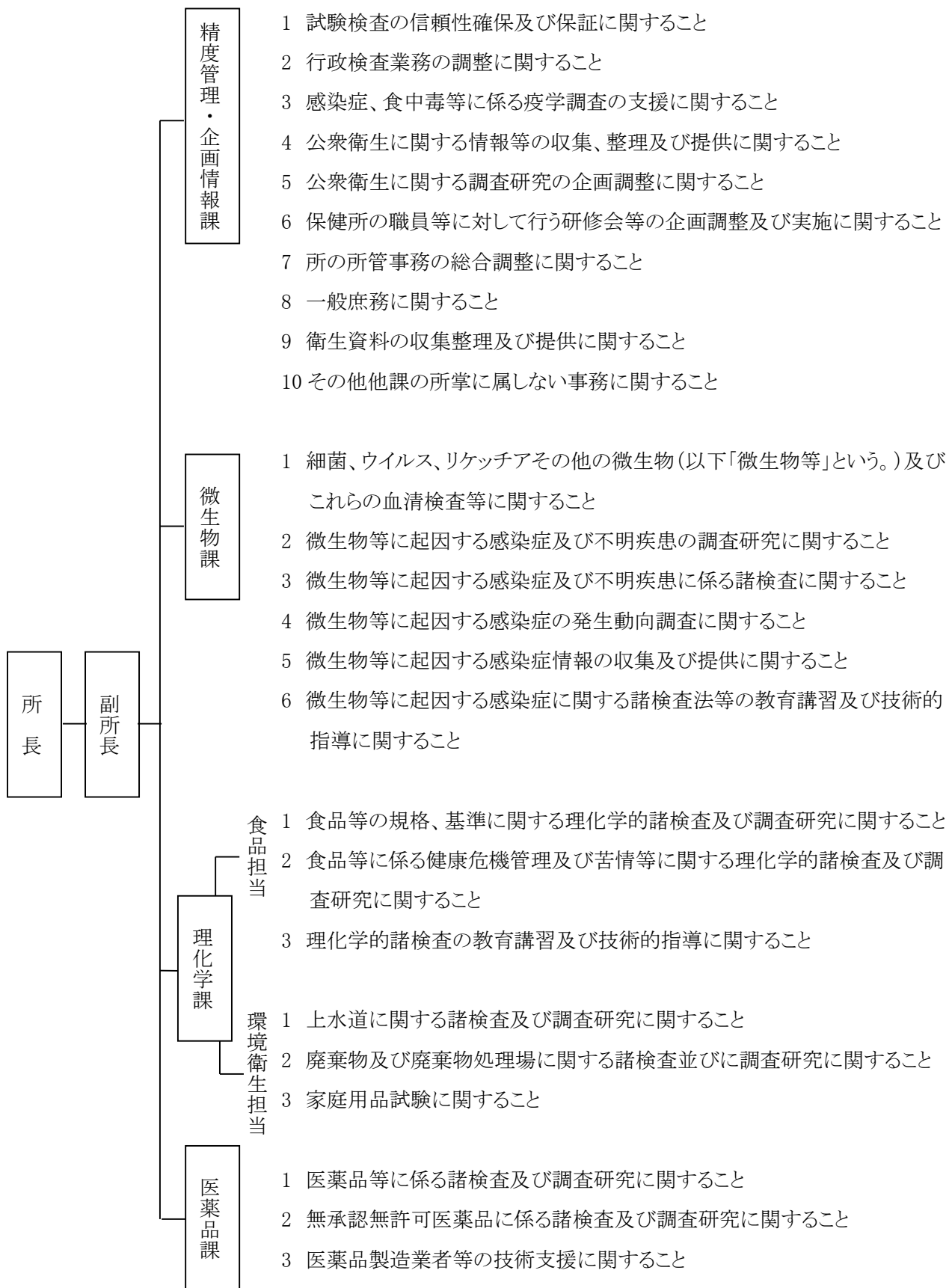
(1) 庁舎配置図



(2) 建物面積

- ①衛生薬業センター 1,802.42 m<sup>2</sup>  
 3階、4階 全フロアー  
 1階 環境試験室 2階 細菌検査室・食品検査室  
 (1階・2階は、佐賀中部保健福祉事務所と併設)
- ②動物舎(鉄筋ブロック造) 60.75 m<sup>2</sup>

### 3 組織及び業務



## 4 職員の構成

令和4年3月31日現在

区 分	医師	獣医師	薬剤師	臨床検査技師(短※1)	理工系	技術員等(短※1)	計
所 長			1				1
副 所 長	1※2		1				2
精度管理・ 企画情報課		1	1	1(1)		1(1)	4(2)
微 生 物 課		1	2	8(3)		2(2)	13(5)
理化学課					1		1
食 品 担 当			3				3
環境衛生担当		1		1(1)	1	1(1)	4(2)
医 薬 品 課			3				3
計	1	3	11	10(5)	2	4(4)	31(9)

※1 短時間勤務(内数)

※2本務:佐賀中部保健所長